

『日高地区まちづくり会議』活動中

市では、今年度から、おおむね小学校区程度のまとまりのある範囲を対象に、市民と行政が協働してまちづくりの指針となる都市計画マスタープラン「地区構想」の策定に向けて、取組みを進めています。

最初に取り組んでいる「日高地区」の取組みについて、2カ月に1回、シリーズでお知らせします。

《問合せ》都市整備課計画整備係 ☎ 23-1712

4月に発足した「日高地区

まちづくり会議」は、発足後、

先進地視察研修や住民アンケートの実施、まち歩きおよびまちづくり会議の開催により、地区の現状や課題の抽出、整理を行ってきました。

今後、これらの現状や課題をまとめ、地区の将来像や目標を決定して地区構想の素案を策定する予定です。

■「日高地区まちづくり会議」の活動経過

○4月24日 第1回日高地区まちづくり会議

・委嘱書の交付、役員の選出、規約の確認

・地区構想策定の趣旨説明

○6月3日 第2回日高地区まちづくり会議

・地区の現状を把握する資料提示

・住民アンケートの提案

○7月7日 先進地視察研修

・西脇市比延地区まちづくり協議会(市民と行政によるまちづくり計画および活動について)

○7月15日 第3回日高地区まちづくり会議

・先進地視察研修結果について

・地区の現状と課題について(ワークショップ)

○7月25日 住民アンケート配布

・日高地区を調査対象として、住民の意向を計画に反映させるための基礎資料に活用

○8月22日 まち歩き

・地区の現状と課題について4ブロックに分かれ現地調査



▲先進地視察研修(西脇市比延地区まちづくり協議会)



▲第3回まちづくり会議(ワークショップ)



▲まち歩き

夏休みラジオ体操顔見知り運動

地域の輪が広がりました！

夏休みの早朝、市内各區で行われたラジオ体操。今年も子どもだけでなく、親や地域の方々も参加して、にぎやかに知られている光景があちこちで見られました。

最近、核家族化、人間関係の希薄化などから、近所の子どもの顔も名前も分からない状況があります。

そこで、豊岡市青少年健全育成会議連絡会が中心となり、昨年から「夏休みラジオ体操顔見知り運動」を実施してきました。

この運動は、ラジオ体操を通じて地域の大人と子どもが顔見知りになり、声掛けを行っていたことを目的に、区長会などの協力を得て行われているもので、2年目を迎えた今年は、市民の皆さんに着実に浸透してきたようです。

8月2日には、八条地区と中筋地区で、区民総出のラジオ体操が行われました。八条地区では、あいにくの

空模様にもかかわらず、乳幼児から高齢者まで約500人が参加し、ラジオから流れてくる音楽に合わせて、元気に体を動かししました。体操終了後には楽しいイベントも行われ、地域交流の輪が広がりました。



▲八条地区で行われた「みんなでラジオ体操」

ラジオ体操に参加いただいた皆さん、ありがとうございました。今後も、地域の子どものために「顔見知り運動」に、協力をお願いいたします。

《問合せ》豊岡市青少年健全育成会議連絡会事務局(生涯学習課人権・社会教育係) ☎ 23-0341



目指せ! 山陰海岸ジオパーク

シリーズ10

鉢 伏

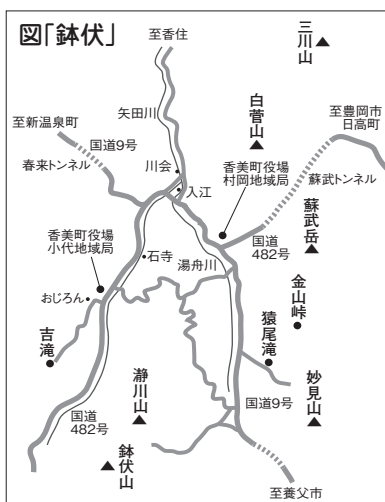
市では、京都府・兵庫県・鳥取県の民間団体や行政機関と連携し、竹野海岸、日和山、玄武洞公園などの山陰海岸国立公園や神鍋高原などを中心としたエリアを「山陰海岸ジオパーク」として、世界ジオパークへの認定を目指しています。このジオパークについて、市のジオパーク普及啓発専門員（北但層群化石研究会代表）の三木武行が、シリーズで紹介します。

《問合せ》観光課 ☎21-9016

地質年代	第三紀		第四紀	
	古第三紀～鮮新世		更新世・完新世	
年代(万年前)	6500	260	70	0
地磁気年代	ギルバート	ガウス	松山	ブルンヌ
但馬の地層群(火山)	北但層群(八鹿・村岡層) 照来層群		(扇ノ山火山群) △鉢伏山 ▲玄武洞 神鍋山△	

…逆磁極期 △…正磁極期の火山 ▲…逆磁極期の火山

香美町は、矢田川と支流の湯舟川を中心し南北に長く、海岸部(香住海岸エリア)と山岳部(鉢伏エリア)では地質がかなり異なっています。しかし、どちらにも共通しているのは、日本海ができる直前に淡水湖があった証拠である大型動物の足跡化石が産出し、鮮新世の地層が大きな景観を作っていることです。湯舟川の流域(香美町村岡



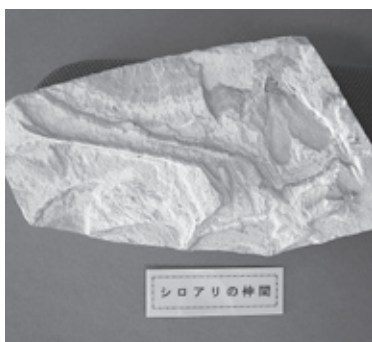
区)には、北但層群八鹿層と村岡層の砂岩泥岩が分布して、たくさん化石が産出します。八鹿層からは、淡水湖畔の珪化木・足跡化石、村岡層からは海生の貝・魚の化石が産出します。貝の種類は、オオハネガイ・ヒタチオビガイ・ツノガイなど暖流で100メートル以上の水深にすむ種類です。魚類では、サッパ・サメの歯などが産出します。矢田川上流(香美町小代区)は石寺区から照来層群の礫岩と泥岩の上に寺田安山岩層の溶岩が分布しています。この寺田安山岩でできて

いる滝が県の名勝「吉滝」です。礫岩の上に流れ出した溶岩が堅固で滝となったものです。下位の泥岩層が新温泉町海上区にあり、全国的にも珍しい昆虫化石や植物化石が見つかっています。これらのことから、この辺りに大きなカルデラ湖があったことが分かります。照来層群と前後して猿尾滝ひん岩が北但馬全域に貫入しています。南北方向の割れ目に貫入したものが多く、北但層群の堆積岩より強固な火山岩なので三川山・蘇武岳・妙見山など高い山として残りしました。そのことが降雨・降雪など但馬地域の気候に大きな影響を与えています。約120万年前に扇の山火山群の噴火がありました。この前期の溶岩にも地磁気の反転を示す南を向く磁性が測定され、玄武洞と同じ松山逆磁極期と判明しました。

この地域は、兵庫県最高峰の氷の山(1,510メートル)をはじめ、鉢伏山・瀬川山・扇の山などの火山地形が多く、スロープを利用した登山やハイキングなどのほか、冬季には、近畿でも本格的なスキーが楽しめる地域です。



▲鉢伏山から瀬川山を望む



▲海上の昆虫化石



▲猿尾滝



▲吉滝